

都道府県名	岡山県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	倉敷市立琴浦西小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	2	20	27
児童数	114	82	103	88	96	83	5	571	

研究の概要

1. 研究主題

学ぶ楽しさ ふれあう喜び
 ~ 仲間とのかかわりを大切に，基礎・基本の学習の定着を図る ~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

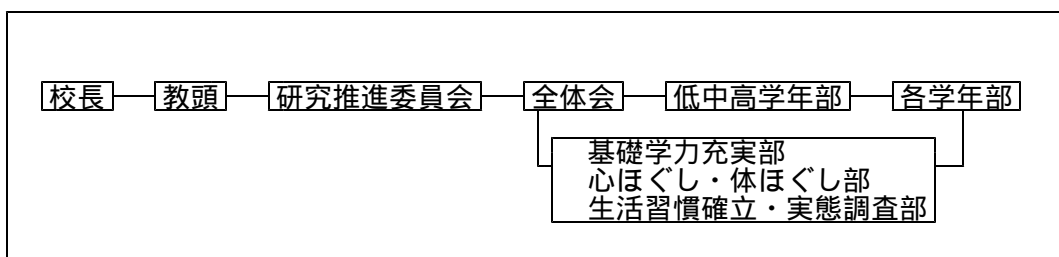
全学年算数
 （系統性が強く，子どもの理解度や習熟度に差がつきやすいと思われる。また，算数への苦手意識が強い子どもが他の教科に比べて多い。）

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 学ぶ楽しさ ふれあう喜び ~ 仲間とのかかわりを大切に，基礎・基本の学習の定着を図る ~</p> <p>研究の見通し 子どもたちの生きる基盤作りをしっかりと行うと同時に，実態に即した効果的な指導方法他指導体制の工夫改善により，個に応じた指導の充実を図っていけば，確かな学力の向上につながると思われる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 子どもたちの生きる基盤作り 基礎学力「読み」「書き」「計算」の向上 ・朝の時間に10分間読書，百ます計算を位置付け継続して行う。 ・漢字を確実に習得できるよう指導を工夫する。 ・基礎学力向上のための学習タイムを設ける。 仲間とのかかわりを大切にしたい集団づくり ・エンカウンター ・体ほぐしの運動を取り入れた体育科の授業 ・学級遊び 基本的生活習慣の確立 ・生活実態調査や意識調査の実施 ・「さわやかモーニングキャンペーン」の実施 ・学習規律案の作成</p> <p>(2) 個に応じた指導の充実（算数科を中心として） 個に応じた指導を有効に生かす年間計画の作成 個に応じた指導を目指した単元の指導過程の工夫 学習内容に応じた効果的な学習集団の編成 児童の実態に即した効果的な指導方法の工夫・改善 （課題の持たせ方，発問の仕方，支援方法等） 次の学習に生かす個の把握と評価</p> <p>(3) 保護者・地域との連携 「学校だより」を発行し，学校の取り組みを理解してもらうとともに協力してもらう。</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 学が楽しさ ふれあう喜び ～ 仲間とのかかわりを大切に、基礎・基本の学習の定着を図る ～</p> <p>研究の見通し 子どもたちの生きる基盤作りをしっかりと行うと同時に、実態に即した効果的な指導方法他指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実を図っていけば、確かな学力の向上につながると考える。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 子どもたちの生きる基盤作り 基礎学力「読み」「書き」「計算」の向上 ・朝の時間に10分間読書、百ます計算を位置付け、継続して行う。 ・暗唱、朗読会などを取り入れ意欲付けを図りながら音読に親しませる。 ・漢字を確実に習得できるよう指導を工夫する。 ・基礎学力向上のための学習タイムを週1回設ける。 仲間とのかかわりを大切にした集団づくり ・エンカウンターを取り入れた集団の心ほぐし。 ・体育科の授業に体ほぐしの運動を取り入れる。 ・学級遊びで集団への帰属感を高める。 基本的な生活習慣の確立 ・生活実態調査や意識調査を実施して改善点を把握する。 ・学年の発達段階に応じた「さわやかモーニングキャンペーン」の実施。 ・学習規律の見直しと徹底。</p> <p>(2) 個に応じた指導の充実(算数科を中心として) 個に応じた指導を有効に生かす年間計画の見直し。 個に応じた指導を目指した単元の指導過程の工夫。 学習内容に応じた効果的な学習集団の編成 児童の実態に即した効果的な指導方法の工夫・改善 (課題の持たせ方、発問の仕方、支援方法等) 次の学習に生かす個の把握と評価</p> <p>(3) 保護者・地域との連携 基本的な生活習慣の確立等について「学校だより」で知らせ家庭と一体となって実践できるようにする。</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 「さわやかモーニングキャンペーン」を実施することにより、リズム性のある生活の重要性を認識し、気をつける家庭が少しずつ増えてきている。このことにより、子どもたちの朝の様子に元気が感じられ、学習時間の姿勢や意欲や集中力にもその効果が現れ始めた児童も増えてきた。
- ・ 「朝読書」で1日をスタートすることは、子どもたちが落ち着いて生活することにつながっている。また、読書が好きな児童が増え、家庭でも本をよく読むようになった。
- ・ 「百ます計算」により、集中力がアップしてきたように感じる。算数の苦手な子どもも、できる数が多くなっていくことで自信をもち、算数の苦手意識が薄らいできた。
- ・ 個に応じた単元構成や学習集団の編成を行い、子どもたちの実態に即した指

導方法を工夫改善することにより、意欲的に学習に取り組むことができた。また、理解も深まった。

- ・ 評価規準表にB規準の具体的な子どもの姿やC規準の子どもへの手だてを明記することにより、その時間内にC規準の子どもをB規準にあげることができやすくなった。

2. 今後の課題

- ・ 基礎学力の充実に向けて子どもたちにどんな力をつけるべきかを明確にし、その実現に向けて具体的な方法を考えていきたい。
- ・ 仲間とのかかわりを大切にしたい。集団づくりのために効果的な方法を考えていきたい。
- ・ 算数の時間だけでは理解が十分でない子どもに対して、いつ、だれが、どのような方法で指導していけばよいか考えていきたい。
- ・ 課題別・習熟度別学習では、各コースのねらいをはっきりさせ、指導法を工夫改善していきたい。
- ・ 1単位時間内に効果的にしかも簡単に評価することができる方法を考え、指導に生かせるようにしたい。

学力等把握のための学校としての取組

学力の実態調査

- ・ 学力テスト実施・分析（1学期，全学年，国語・算数）
- ・ T I Cテストによる児童の意識・特性調査（1学期，全学年）
- ・ 学力と生活習慣との関連分析

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 平成16年度より、ホームページ公開
- ・ 平成15年11月 公開授業をもとにした研修会開催（中学校区）
- ・ 平成16年6月 公開授業をもとにした研究協議会開催（児島地区）
- ・ 平成16年11月 授業を公開し、研究発表会開催（倉敷事務所管内）

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無